

## 巻頭言

### 液体ヘリウムの料金算定方式の改定について

センター長      井上 明久  
                         青木 晴善  
                         野島 勉  
                         落合 明

本センターの最も重要な業務に液体ヘリウムの安定供給があります。現在、年間約 24 万リットルの液体ヘリウムを供給しており、学内の 200 名強の教員・研究者および約 450 名の大学院生の研究に関与し、年間約 600 編の論文の出版に寄与するなど本学の教育・研究に貢献しています。また、液体ヘリウムを使用した共同利用機器は、約 60 編の論文の出版に貢献しております。液体ヘリウムの供給は本学の教育・研究を遂行する上で、電気・水の供給と同様に重要なライフラインとなっております。

本センターでは平成 15 年度までに全学的なヘリウムガスの回収ラインの整備を完成し、16 年度には主要な建物やブロックごとに液体ヘリウムの回収率を把握するための流量計などの整備を行いました。これまで液体ヘリウムの使用料金は単純に使用量に比例していましたが、これらの整備に基づいて料金徴収の考え方を大きく変更し、回収率に基づく使用料金の設定を行うこととなりました。料金の算定方式の改定は平成 17 年度 6 月に開催された本センターの運営専門委員会において正式に決定され、今年度より実施いたします。

液体ヘリウムの供給には運営費交付金による援助をいただいております。液体ヘリウムの回収率の向上は、貴重な天然資源である液体ヘリウムを有効活用するために重要なばかりでなく、運営費交付金を効率的に使用するためにも必要不可欠であります。回収率に基づく液体ヘリウム料金の設定は液体ヘリウム使用者各位にも運営費交付金の効率的な使用にご協力いただくことであり、また、一方で、自助努力により回収率を向上していただいた使用者には、これまでより低廉な料金で使用をしていただき、より一層の低温研究の振興を行うことをねらいとしたものです。

今後とも、新しい施策を行い、一層の効率的な運営を行うとともに、本学の低温関連の教育・研究の支援と振興を図る所存であります。今後とも本センターの運営には変わらぬご支援とご協力を御願い申し上げます。